

第68回

くにたち市民文化祭

— 記録集 —

出会い！発見！
新たなエネルギー

第68回 くにたち
市民文化祭

出会い！発見！
新たなエネルギー

10月17日(木)～
11月26日(日)

場所と催し物

- 公民館** 総合美術展（絵画・手工
芸・書・写真）、いけ花展、
絵画展、書道展、市民茶会、フルート、
合唱、民族音楽、ギター、シャンソン、
話し方、朗読、着物ショー、着物体験、
シンポジウム、ピースリーディング、
国際交流、多世代交流ワークショップ
- 芸術小ホール** 芸能フェスティバル（舞踊）、
声楽、朗読
- 福祉会館** 国際茶会

主催 国が関与：くにたち市民文化祭実行委員会
後援 国が関与：国が関与委員会、くにたち文化・スポーツ振興財団
国立市公民館 ☎572-5141

2023(令和5)年度

主催：第68回くにたち市民文化祭実行委員会

後援：国立市教育委員会

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

目 次

第68回くにたち市民文化祭を終えて思うこと 実行委員長 鈴木 幸雄	1
第68回くにたち市民文化祭によせて 市長 永見 理夫	2
第68回くにたち市民文化祭によせて 教育長 雨宮 和人	3

第68回くにたち市民文化祭 参加グループ紹介展示、紹介展示会場図	4
第68回くにたち市民文化祭に参加して 公民館利用者連絡会 世話人 坂本 博	6

《共同企画事業》

◎第68回 総合美術展	7
◎第33回 芸能フェスティバル	9
国立市日本舞踊連盟	9
くにたち市民のつどい	10
◎第43回 市民茶会	11
◎第47回 くにとち合同いけ花展	13

《グループによる企画事業》

くにたち話し方勉強会	14
くにたち国際友好会WING	15
プロウタイム	16
シャンソン勉強会	17
KUNIFA日本語サポート	18
地域国際交流 ーまほうのランプー	19
i-z e (いーぜ)	21
くにたちギタークラブ「かなで」	22
リーダーシアター座くにたち	23
国立市書道連盟	24
国立あひるグループ	25
くにたち公民館をまもる会	26
フルート・アンサンブル「桜音の会」	27
くにたち絵画グループ	28
着付けサークルかのこ	29
ピースリーディング結	30
グリーンコーラス	31
こぎつねの会	32
国立国際交流会	33
パサール・スニ くにたち	35
第68回くにたち市民文化祭実行委員会の記録	36
反省会の記録	40

第68回くにたち市民文化祭を終えて思うこと

実行委員長 鈴木 幸雄

10月17日より始まりました「第68回くにたち市民文化祭」が無事終了しました。実行委員長としての役目が果たせたという思いで、ほっとしています。また、参加された団体の皆様を始め、文化祭の開催に向けて様々なサポートをしていただいた公民館の館長や担当職員の皆様には、心より感謝申し上げます。

さて、昨年までの3年間はコロナ禍のもとで、開催そのものが危ぶまれるような状況でしたが、今年は参加団体が24団体と、コロナ前の状況に戻りました。中には初参加という団体もありましたので、今後もそういった動きが広がっていくことを願っています。

今年のテーマは「出会い！発見！新たなエネルギー」です。いろいろなジャンルの団体が参加されましたが、普段はあまり興味のないものでも、一度見たり聴いたり触れ合うことで、新しい発見があり、興味を持つようになることがあります。今回の文化祭で多くの方がそういう体験をされたものと確信しています。

また、今までにない取り組みとしてとても良かったと思うことは、参加団体の紹介ポスターを開催期間中、階段壁面に掲示したことと、パンフレットをカラー版の小冊子にしたことを挙げたいと思います。

特にポスターについては、以前から掲示期間をどうにかできないか？という意見がありました。事務局からの提案を聞いた時は諸手を挙げて賛成しました。実は私が所属する「桜音の会」のメンバーに各団体のポスターを見てもらいましたら、力作揃いのポスターを見て感動していました。是非、今後も続けていただければと思います。

これからも、幅広いジャンルで多くの団体が参加するとともに、国立市民の文化度の高さを示すような文化祭になることを願っています。

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

第68回くにたち市民文化祭によせて

国立市長 永見 理夫

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置付けられたことで、コロナ禍以前のような生活が送れるようになるなか、参加された各団体やグループの皆様のご熱意や創意工夫によって、第68回くにたち市民文化祭が盛会に開催されましたこと、心からお喜びを申し上げます。

市は、ポストコロナの社会に向けて、「人間を大切にする」という基本理念のもと、個を尊重し多様性を認め合う「ソーシャル・インクルージョン」の理念を各施策にさらに根付かせられるよう、取り組んでおります。

その大きな一つとして、健康（ウェルビーイング）を支えるまちづくりを進めておりますが、これは、市民一人ひとりが肉体的な健康だけではなく、精神的、そして社会的にも満たされていくこと。一人ひとりの「幸せ・満足」が向上し、一人ひとりの可能性が高まっていくこと。そして、それによって、くにたちというまち全体がきらりと輝いていく。こうした流れを実現することが、ソーシャル・インクルージョンの実現に繋がっていくと考えております。

今回の市民文化祭のテーマ「出会い！発見！新たなエネルギー」からは、「つどう」、「であう」、「つながる」といった、皆様によって培われてきた社会教育活動の精神が包含されており、まさに健康まちづくりの理念と合致するものだと、改めて思うところです。

今後とも、国立市における、文化・芸術の振興、伝統の継承、次世代の育成など、様々な課題に、市と共に立ち向かっていただきたいと存じます。

結びに、皆様のご多幸と、くにたち市民文化祭の益々の発展を祈念し、ごあいさつとさせていただきます。

第68回くにたち市民文化祭によせて

国立市教育長 雨宮 和人

第68回くにたち市民文化祭が「出会い！発見！新たなエネルギー」のテーマのもと、新型コロナウイルスやインフルエンザ等感染症をものともせず、市民の皆様の躍動するエネルギーによって、公民館をはじめとする市内各所において多彩にイベントを重ね、盛大に開催されましたこと、心よりお喜び申し上げます。

くにたち市民文化祭は、市民の皆様による日頃の自主的な学習活動の成果を発表する場として、また、相互理解を深めるふれあいの場として、70年もの長きにわたって開催されてきており、国立市民の社会教育の伝統的活動とも言えるものです。

国立市教育委員会は、「人間を大切にする」という市の基本理念、また、「ソーシャルインクルージョン」の理念に基づき、一人ひとりの市民の皆様が、主体的に文化や芸術、また多様な活動を実践できるよう、社会教育環境を整備してまいりました。これからも、皆様が存分にご自身の表現活動が可能となるよう、市民の皆様の社会教育活動、また、くにたち市民文化祭を支援してまいります。

今後も、くにたち市民文化祭が華やかに開催され、ますます発展していくことを祈念いたしております。

第68回 くにたち市民文化祭 参加グループ紹介展示

今回は、10月17日(火)～10月21日(土)まで公民館市民交流ロビーにて、文化祭参加グループによる催し物の紹介展示を行いました。

また、今年はロビーでの紹介展示の終了後、文化祭期間中は階段壁面を利用して掲示を継続しました。各グループの工夫を凝らした紹介展示が、館内を文化祭色に染め上げ、来館者の目を楽しませていました。

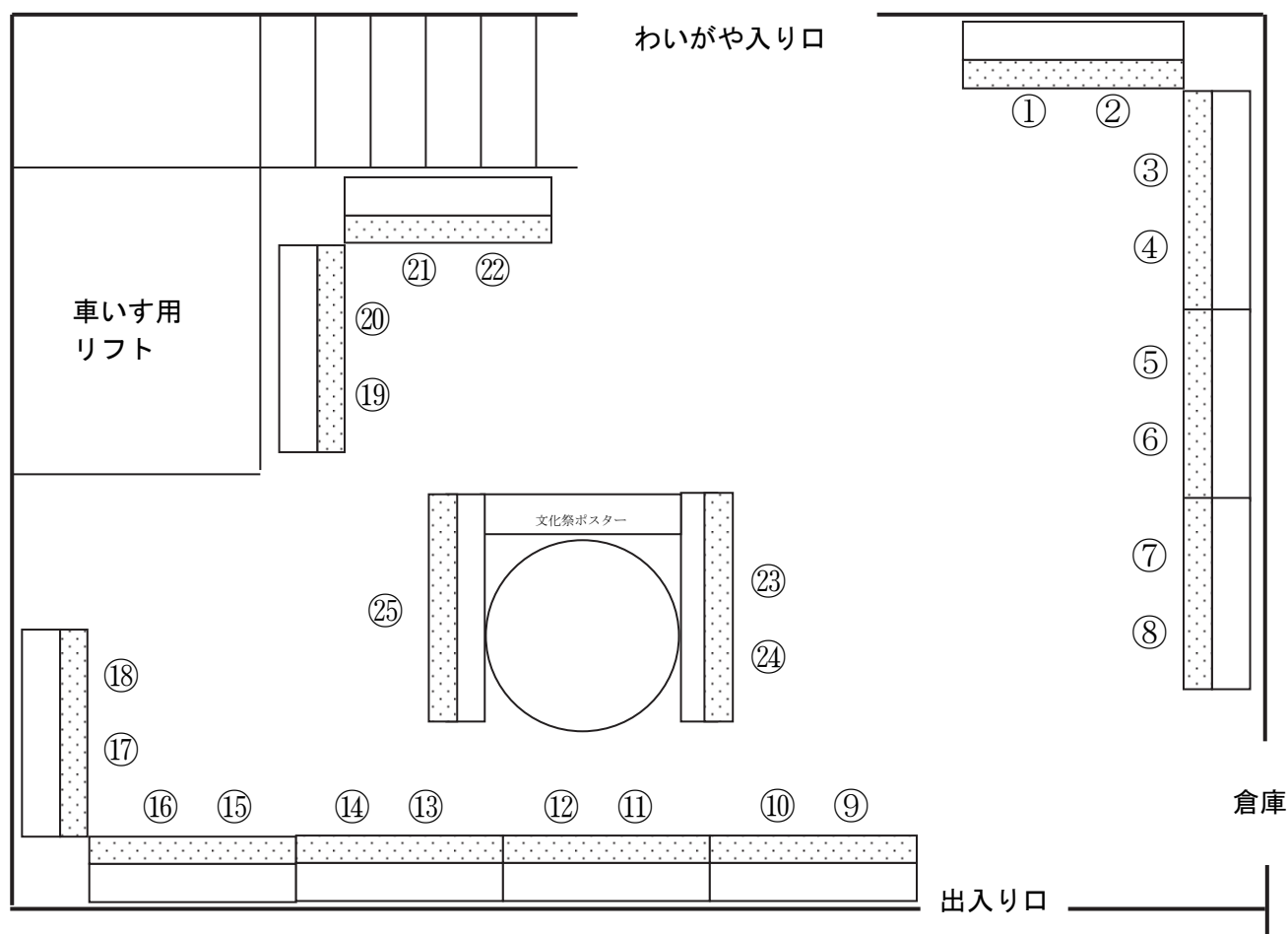


紹介展示会場図（１階 市民交流ロビー）

展示期間：１０月１７日（火）から１０月２１日（土）まで

設 営：１０月１６日（月）

撤 収：１０月２１日（土）式典終了後



- | | | |
|-----------------------|---------------------|---------------|
| ① くにたち話し方勉強会 | ⑩ i - z e (いーぜ) | ⑲ ピースリーディング結 |
| ② くにたち国際友好会
WING | ⑪ リーダースシアタ座
くにたち | ⑳ グリーンコーラス |
| ③ 総合美術展 | ⑫ 国立市書道連盟 | ㉑ くにたち茶道連盟 |
| ④ プロウタイム | ⑬ 国立あひるグループ | ㉒ こぎつねの会 |
| ⑤ シャンソン勉強会 | ⑭ 公民館を守る会 | ㉓ 国立国際交流会 |
| ⑥ KUNIFA 日本語サポート | ⑮ 桜音の会 | ㉔ パサール・スニくにたち |
| ⑦ 地域国際交流
ーまほうのランパー | ⑯ くにたち絵画グループ | ㉕ 公民館利用者連絡会 |
| ⑧ 芸能フェスティバル | ⑰ くにたち合同いけばな
の会 | |
| ⑨ くにたちギタークラブ
かなで | ⑱ 着付けサークルかのこ | |

第 68 回くにたち市民文化祭に参加して

公民館利用者連絡会（公利連） 世話人 坂本 博

公利連は縁の下の力持ちか？

公利連は公民館を利用する方々が利用しやすいよう、公民館と協力して毎月会場調整会を行っています。でも、公利連の活動はそれだけではありません。利用者同士の交流や市民と公民館との連絡にも微力ながらお手伝いしています。文化祭のお手伝いもその一つです。

お手伝いその1

今年3月、「くにたち公民館だより」に先駆けて、「公利連だより」で文化祭参加申し込みの締め切り日（4月19日）についてお知らせしました。そして「盛り上げていきましょう」と参加を呼びかけました。

お手伝いその2

10月21日、文化祭オープニング式典では受付のお手伝いをし、第2部の司会は公利連世話人の山根さんが引き受けました。24参加団体の紹介の後で、公利連副代表の家坂さんが挨拶に立ち、公利連が文



化祭の開催に協力してきたこと、日頃の活動を支える重要な役割を果たしていることについて述べました。



お手伝いその3

12月2日の世話人会で文化祭の反省をしましたが、反省というよりも良かった点についての意見が多く出されました。ロビーでの団体紹介の展示を階段でも行ったこと、催し物を公民館の職員がいていねいに

手伝ってくださったこと、カラフルで便利なパンフレットが作られたことなどです。

最後に、この場所を借りて、世話人を募集します。よろしくお願いいたします。

第68回 総合美術展

代表 佐藤 寛

今年も、10月24日から29日、公民館の地下ホール、1階ロビー、3階 集会室・講座室を会場として、無事開催できました。開催に当たり、ご協力頂きました公民館の館長はじめ職員・ボランティアのみなさまに、改めて深く感謝申し上げます。

今年は、新型コロナの感染症上の分類が、2類から5類へ移行し、外出制限もなくなり、人々が街に繰り出し始めたこともあり、出品者数109名、作品数173点と、コロナ前の2019年の出品者数98名、作品数154点を、上回る結果となりました。

また、来場者数も、今年も昨年同様、約1,500名と、多くの皆様にご覧いただき、嬉しい限りです。

今年は、部門の垣根を越えたコラボ展示をしてみました。絵画部門には、油彩や水彩の絵画の中に、押し花アートの作品や、下げ飾りや陶芸などの立体の工芸作品も展示するなど、雰囲気もしっかりマッチしており好評でした。また、書部門には、水墨画や日本画などの絵画作品に加え、仏像などの工芸作品も展示し、こちらも和の雰囲気で、溶け込んでおりました。来年も、継続実施できればと思っております。

また、今年も昨年に引き続き、体験・デモンストレーションのコーナーを設けました。「写真スライドショー ～くにたちの風物詩～」、「勘亭流の年賀状」、「書初め体験」、「トールペイント」の各イベントに、沢山の方々にお越しいただき、誠にありがとうございました。芸術のインスピレーションを、少しでも感じていただけて良かったと、思っております。

世界的に紛争が絶えない状況の中、このような芸術活動ができているありがたさを実感・感謝し、来年も多くの方に、出品・来場いただけるよう、みなさまのご協力をお願い申し上げます。



芸能フェスティバル

11月5日(日) 午前11時～午後3時

於 くにたち市民芸術小ホール 参加2団体

第33回芸能フェスティバルは今回2団体でございました。準備は3団体で進めて参りましたが、つむぎ会さんの急な欠場でございました。当日は市民祭と重なりはしましたが気候にも恵まれお客様の延べ人数は280名程でございました。

国立市日本舞踊連盟

出演者数11名 渡邊恵子

午後1時30分～午後3時

日本舞踊連盟一同は芸能フェスティバルを発表の場としてこの1年間を頑張って参りました。



長唄小曲 柳の雨



長唄 五月雨



長唄 梅の栄



長唄 多摩川



長唄 吉原雀



長唄小曲 晒女



長唄小曲 初陣



長唄 藤の幻想



長唄 あやめ浴衣

皆様の温かい応援やご協力を心より感謝申し上げます。

第33回 芸能フェスティバル

くにたち市民のつどい

代表 小泉柿鈴代
出演者 38名

当日は、交通規制があり出演者の楽屋入が心配でしたが、無事に楽屋入ができ、ひと安心でした。今回は、日本舞踊連盟の皆様との2団体の参加でしたが、本来はつむぎ会の3団体です。

市民のつどいの会の皆さん全員参加で、久しぶりに楽屋も舞台も踊り一色で花が咲きました。楽しい一日を日本舞踊連盟の方々と共に盛大に終わることができましたことは、スタートより当日までご協力してくださいました公民館、館長はじめ多くのスタッフの皆様に出演者一同心よりお礼申し上げます。有り難う御座いました。



第43回市民茶会

主 催 国立茶道連盟

開催日 11月23日（木・祝）10：00～16：00

会 場	くにたち公民館 3F	参加者数	茶席関係者	40 名
お茶席	和 室 小堀遠州流 新井宗利		茶席入席者総数	135 名
	講座室 表 千 家 佐伯宗安			

国立茶道連盟は、一服のお茶を頂くことで、そこから広がる楽しみ、人々との和など、様々な事柄が心の潤いとなり、心を豊かにさせてくれることを願って、心を込めておもてなしをさせて頂きました。

コロナ感染症が何年も止らず苦しみの時を乗り越えて今やっと日常が戻ってまいりました。今年は参加者（茶道関係者・入場者）も今までに戻して元気一杯、よい茶会となったことと一同振り返って思っております。

テーマ 「出会い、発見、新たなエネルギー」まさに、そのまま、コロナ退散を願って新たな気持ちを大切に前進しました。当日は小春日和となり、暖かいひとときをご来館の皆様もきっと…お楽しみいただけたことと思っております。

大きな荷物の運搬など、そして会場設営など、公民館の皆様には気持ちよくお助けを頂きました。心より感謝申し上げます。

国立茶道連盟会長 佐伯宗安

和室 小堀遠州流

例年、市民茶会らしく気軽に楽しんで頂けるような道具組を作っておりました。COVID-19 で生活の自由が狭められている中で思いがけずじっくりと自分を見つめなおす時間が生まれ、今世界で起こっている争い、気候変動による災害の中でも大切に繋ぎ続いてきた文化の重さを実感、少し古い明治時代以前の道具で茶の湯の場面を作ってみようと試みました。床に田能村直入画に漢詩「花落雨餘雨 風吹寒食寒」の賛が入った軸をかけ、明治時代に出土したいつもは埃を被っていた須恵器に大きな沙羅の照葉を入れましたら、お客様を迎えるベースができたような気持ちになりました。当日は小さな小学生、中学生、高校生、そして戦火を逃れて日本へ避難しているウクライナの人のお運び、お客様には何年も前に国立で学んだロシアの方をはじめ、国立で学び、現在は教育者となって戻って教鞭をとっている元留学生などなど、何の気負いもなくどなたでも受け入れられる茶の湯の広がる世界が嬉しい一日でした。

（小堀遠州流 新井宗利）



講座室 表千家



会記 軸 建長寺館長正道老師筆「吟風一様松」

花入 胡麻竹掛け花入れ

花 大神楽 蔦紅葉

瀬戸黒 小原木写

香合 蔦 武蔵野

お菓子 織部饅頭 府中さわい調製

(表千家 佐伯宗安)

第47回 くにたち合同いけ花展

くにたち合同いけ花の会 代表 小野 節子

と き 2023年11月18日(土)、19日(日) 午前10時～午後4時

場 所 公民館3階(和室、小集会室を除く)

参加流派 古流清和会、草月流、嵯峨御流、和風会

参加人数 29名

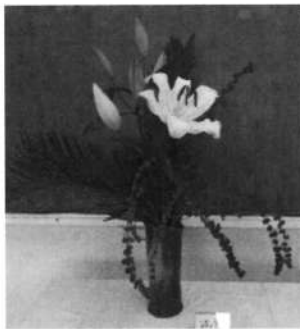
参観人数 記帳者67名、他15名

コロナも落ち着き、2日間は好天にも恵まれました。

昨年に引き続き、繋げていくことが出来、開催させていただきました。会場は広々と使わせていただき、各流派「心に残るいけ花」を、お楽しみいただきました。

1つ1つの作品に目をこらして、ご覧になっておられたことが印象に残りました。元気エネルギーを感じられたことでしょう。

公民館の担当の方、皆さんに大変お世話になりました。新たためて、感謝申し上げます。



くになち話し方勉強会

・開催日	2023年10/21(土) 18:30～20:30	2023年11/25(土) 18:30～20:30
・開催場所	公民館集会室	公民館講座室
・参加人数(会員)	15名	16名
・参観人数	6名	7名
・合計人数	21名	23名

《公開講座の内容》

- 10/21 『1分間スピーチ』 日常をすくいにとって思いや考えを語る
『気になる言葉』 会員3名が気になる言葉を発表、合評を行なう
『言葉のしおり』 鼻濁音についてのワンポイント
『朗読レッスン』 阿川佐和子著「ない生活」
- 11/25 『1分間スピーチ』 日常をすくいにとって思いや考えを語る
『最近のニュースから』 3名が関心のある話題を取り上げ意見交換
『言葉のしおり』 言葉の語源についてのワンポイント
『朗読レッスン』 向田邦子著「父の詫び状」 角田光代著「名前」他

《参加された方のアンケートより》

- ・脳の活性化には、もってこいの教室だと思います。
- ・1分間スピーチはとても面白かったです。
- ・朗読は情景が浮かび、個人の違いが出て面白かったです。
- ・得難いニュース問題を語り合い、大人の会話のやりとりの楽しさを思い出しました。
- ・自分の意見をまとめ、他者とどうコミュニケーションをとるかという勉強会でした。
- ・聞き手の興味を引きつけながら話す姿勢に感動しました。



公開講座風景

くにたち国際友好会 WING

1. 期間・日時

2023 年 10 月 29 日（日）夜 7 時～9 時 国際理解講座（講師：濱崎真也様）

2023 年 11 月 26 日（日）夜 7 時～9 時 国際理解講座（講師：Winter Janina 様）

2. 会場

公民館 1 階市民交流ロビー（2 回とも）

3. 参加人数

2023 年 10 月 29 日（日）講師 1 名、運営 6 名、計 7 名

2023 年 11 月 26 日（日）講師 1 名、運営 5 名、計 6 名

参加人数（主催者側）：2 日間でのべ 13 名

4. 参観人数

2023 年 10 月 29 日（日）聴講者：会場参加 13 名、Web 参加 5 名、計 18 名

2023 年 11 月 26 日（日）聴講者：会場参加 9 名、Web 参加 9 名、計 18 名

参観人数（聴講者）：2 日間でのべ 36 名

くにたち国際友好会 WING は、初めてくにたち市民文化祭に参加させて頂きました。毎月公民館 3 階で開催している外国人講師による国際理解講座を、今回は 1 階市民交流ロビーで 2 回開催させて頂きました。対面での開催と Zoom によるオンライン開催とを併用し、会場参加・Web 参加ともに多数の皆様にご聴講頂くことができました。途中でライブ配信に乱れがありご迷惑をおかけしましたが、原因として公民館の Wi-Fi 環境の問題が考えられ、今後の改善をお願いできれば幸いです。



こころを耕す書道の時間

プロウタイム

1. 期間・日時： 2023年11月3日（金） 9時 ～ 11月5日（日） 11時まで
2. 会場：市民ロビー
3. 主催参加人数：26名（プロウタイムごぜん塾メンバー6名、2施設デイサービス夢と笑顔の書道勉強会メンバー20名）
4. 参観人数：延べ来場者 30名

参加者の感想

- ・皆さんと一緒に参加する機会ができたのがうれしかった。（国立市内高齢者施設）
 - ・国立市公民館に展示ができてやりがいがあった。（立川市内高齢者施設）
 - ・主催者、参加者は出展が楽しかった。ワクワクした。会の一体感を感じた。
 - ・準備の際や展示中の来場者は常に学習コーナーの学生に気をつけている。逆に学生たちも遠慮がちに利用しているので、文化祭の時はロビーを共有するのは酷だと思った。
 - ・体験コーナーをつくり書道のよさや交流ができるとよいと思った。
 - ・来年も参加したい。今度は別室でやっていた i-ze（いーぜ）と青年室といっしょにロビーを使って、誰もが体験できるワークショップの場をつくるとよいと思った。
- 来年は障害があるもの・幼児・高齢者までいっしょにワークの体験を共有する出展を検討したいと思う。



シャンソン、カンツォーネを

あなたへ！

—シャンソン勉強会—

♪ 日 時： 11月3日（金・祭） 13時～15時半

♪ 会 場： 公民館 地下ホール

♪ 参加人数： 11名

♪ 参観人数： 約60名

私たちのグループは、シャンソン勉強会として今年初めて市民文化祭へ参加しました。

5月に子ども食堂支援チャリティコンサートを開催した後で、練習時間が少ない中、今回のコンサートを迎えました。

出演者は9人、1人2曲で18曲を披露しました。プロの音楽スタッフの方々に協力していただき、また、会場準備等の全般に渡って公民館の方々にも大変お世話になりました。

当日は「銀パリの再現！？」とまでは行きませんでした。多くのお客様に応援に来ていただき、大変盛況でした。

次回は更により楽しい魅力的なコンサートを目指して、シャンソンやカンツォーネの世界をお届けできたらと願っています。



第23回 日本語学習者によるスピーチの会

(4年振りの開催！)

主 催 : KUNIFA 日本語サポート

日 時 : 2023(令和5)年11月 4日(土) 13時～15時

場 所 : 国立市公民館 3階 講座室

参加人数 : 34名 (スピーチ発表者 5名、民族衣装披露+歌唱 1名、
ボランティア 24名、一般参加者 4名)

コロナ禍前は最大80名を超える参加者を集めたスピーチの会であったが、この4年間は日々の学習支援さえ息を潜めて行うような状態であり、再開に向けては一定の議論が必要であった。何と言っても、スピーチの会を知らない学習者が殆どの現状では、果たして発表者が集まるのか、が最大の懸案事項であった。

しかし、開催を決断し、参加者募集を始めてみれば、民族衣装披露を含め6名が手を挙げてくれたおかげで、「会」という名に恥じないイベントを催す事が出来たのは何よりの喜びである。ご来場の皆様からのアンケートも好意的な内容が多く、支えてくれた全ての方々に感謝申し上げる。

来年以降の開催についても『継続と継承』を合言葉に検討していく事としたい。

スピーチの会 実行委員長 齋藤 寿一



第22回 国際茶会

地域国際交流 -まほうのランプ-

開催日 2023年11月5日(日) 参加総数 110名
会場 くにたち福社会館 参加スタッフ 41名
参加団体 香道 むさしの香の会 茶道 小堀遠州流
台湾茶大好き有志

昨年より大勢の方にご参加できるように「台湾茶席」「茶道席」「香道席」の三席で工夫し合計110名の方にご来場いただきました。静かな中にも華やいだ和やかなひと時をご来場者の皆さんと共にすることができましたことに感謝です。

台湾茶席



今年は一橋大学台湾人留学生会ではなく、OBOGと現役留学生の有志を中心に開催する形になってしまいましたが、例年通りに国際茶会に参加できて良かったです。

今年も去年と変わらず完全予約制でしたのでお客様の案内がスムーズでしたが、飛び込みで参加したい方が参加できないということになってしまいますので、来年以降コロナの影響がより薄まったら、完全予約制を続けるかを議論する必要はありそうかと思います。

今年の台湾茶席はミルクの香りが濃厚な金萱(きんせん)茶と、まるでアップル紅茶であるかのような紅烏龍茶を出し、烏龍茶といっても様々な香りがあることを説明しました。

台湾菓子に関しては2020年の留学生会会長の黄さんがわざわざ台湾から持ってきてくれたパイナップルケーキを出しました。パイナップルケーキを出すと特に日本人のお客様が喜んで頂きますが、来年は台中の太陽餅(たいようへい)のような、日本ではまだあまり知られていないものの実は台湾を代表するお菓子を出そうかと考えております。

(留学生 OB 呉東文)



会場準備は同窓会のような雰囲気

茶道席 小堀遠州流



国際茶会も 22 回となり色々なお茶に参加できる事を楽しみに来訪して下さる方も多くあります。今年は猛暑と雨不足で、お花を見つけるのが難しいところ、皆様のおかげで「黒文字、白玉、ホトトギス」を揃える事が出来ました。

小学生のお運びも、茶会を和やかにしてくれました。今回は、ウクライナの方も初めてのお点前を披露されました。少し緊張した様子も見られましたが、素晴らしいお点前でした。お菓子は、一足早く、色づいた「もみじ」を用意しました。

気軽に楽しめるこの機会に、お茶の世界を身近に感じていただければ、嬉しく思います。
(茶道席 席主 中野宗裕)



香道席 おさしの香の会



香道は数種類の香木の香を聴いて、同じ香りをあてる楽しいゲームです。多い時には7種類の香をきくこともあります。国際茶会では初めての方でも楽しめるように2種類の香をききあてます

(香道席 おさしの香の会 荒井香春)



i-ze（いーぜ） 夢と笑顔とワクワクを育むワークショップ

実施内容

- メダカのアクアテラリウム
- ギャラクシーボトルを作ろう
- 紅葉の季節のきりがみアート
- 1年後の自分へ夢レターを書こう

1. 期間・日時： 2023年11月5日（金） 10時 ～16時まで
2. 会場：講座室・集会室 2部屋を開放
3. 団体数：1
4. 主催参加人数 8名
5. 参観人 延べ25名

参加者の感想

- ・多世代が交流できる場づくりができた。
- ・初めての参加なので今回はお試しとおもいきなり準備に力をいれずやってみた。
- ・集客の面では工夫が必要だとわかった。
- ・入口に文化祭の大看板を置いて欲しかった。誰も気づいてくれないと思った。
- ・入口に立ち文化祭中であること、ワークショップをやっていることを声かけし知って頂く努力をした。
- ・公民館利用をされている方、市民団体代表、介護施設長が会場を覗いてくれた。
- ・使わなくなったお花の資材を利用してくれませんか？とお声かけ頂いた。
- ・公式LINEに登録してくれた。
- ・駅舎でやりたかった。
- ・知人が多く来てくれたのがうれしかった。
- ・親子ですごく熱中し楽しんでくれた。
- ・矢川プラスでのワークショップに来てくれた方がチラシをみて今回来てくれたのがうれしかった。
- ・来年も参加したい。今度は別室でやっていたプロウタイム書道と同日同じ部屋でやりたいと思った。

多世代交流ワークショップ風景
幼児から高齢者まで誰もが
参加し交流する場



ワークショップ内容 ↓



くにたちギタークラブ「かなで」

～ クラシックギターを奏でる ～

日 時：2023年11月5日(日) 13時～15時

場 所：国立市公民館 市民交流ロビー

参加人数：9名

参観人数：40名

一昨年、初参画し、今回が3回目となりました。また、当クラブの定期演奏会と位置付けて実施しております。

当日は多くのお客様にきていただき、心より感謝いたします。

2018年4月にクラシックギター好きな5人の有志で練習を始め、今年は9名の会員で取り組んでいます。今回はソロ、デュオ、アンサンブルで28曲演奏し、クラシック曲以外にもいろいろなジャンルの曲にチャレンジしました。また、他地区のアンサンブルサークルに負けたくないよう頑張っており、取り組んでいきたいと考えています。

最後に、市民文化祭の開催に向け、ご準備いただきました文化祭実行委員会および関係の皆様に感謝申し上げます。



リーダーシアター座くにたち

－朗読・朗読劇－

開催日：2023 年 11 月 5 日（日） 昼 2 時～3 時半

会場：芸術小ホール スタジオ

参加者：6 名 来場者：40 名

初めての市民文化祭参加でした。コロナの為、久々の発表となりました。

- ・てんびんばかり（宮部みゆき 作）
- ・空中ブランコ乗りのキキ（別役実 作）
- ・朱雀門（鈴木静一 作）

雰囲気異なる 3 作品を発表しました。

私達の活動の要である朗読劇（さるじぞう）

登場人物がお互いに関わるのではなく、観客に向って台詞を云うというもので、衣裳などもなるべくシンプルにして観客の想像力で話を作り上げてもらうというものです。シェイクスピア劇などでよく行われるもので、押し着せでない、自分の解釈で楽しんでもいただけるやり方です。

私達の会では、朗読の最後に少しコミカルな朗読劇で笑って、リラックスして帰っていただく事が多いです。

お楽しみいただけたでしょうか。



第52回 国立市書道展

と き 11月10日（金）～11月12日（日）
場 所 公民館 1階市民交流ロビー、3階講座室・集会室
出 品 一般73点 学生83点
来 場 者 249名

国立市内及び近隣の書道教室、書道家、愛好家の皆様から昨年を上回る156点の出品を頂きました。

寒さが急激に増すなか、沢山のお客様にご来場を頂き、本当に有難うございました。

作品は、例年以上に国立市文化祭らしく様々な書風が見られ、お客様から書道教室を教えてくださいと尋ねられることもありました。また、小学生から高校生の一年間稽古した成果を表す力作も数多く見られ感心されておりました。来場されたご家族の皆様もビックリされ、一緒に記念撮影をするなど楽しまれておりました。

開催に当たり、公民館職員及びご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。有難うございました。

国立市書道連盟 小林 牧翠



国立あひるグループ公開レッスン

と き 11月10日（金）13時～15時
場 所 公民館 地下ホール
参加人数 15名
参観人数 5名



国立あひるグループは、ア・カペラ（無伴奏）の女声三部のコーラスグループです。この国立あひるが公開レッスンを行いました。心配していた天候も何とか「くもり」を保ちつつ当日を迎えました。

会場にいらした方に私達の歌をよく聴いていただけるよう、また練習風景をよく見ていただけるように、ピアノも中央に移動して全体をレイアウト。どなたも一度は歌った事があると思われる「大きな古時計」や「もろびとこぞりて」、歌った事は無いけれどどこかで聞いた事はあると思われる「アヴェ・ヴェルム・コルプス」の計3曲の楽譜を用意してお待ちしました。

開始時間直前におひとり、また一人…と計5人の方が集まって下さり、なかなかレッスン空間となりました。「いつも通り」をご覧頂く為、身体をほぐしたり、声を出す為のトレーニング（発声練習）も体験して頂いた上で各自好きなパート（ソプラノ・メゾ・アルト）に席を移して着席、レッスンを開始。

各パートの譜読み（どのように歌うのかピアノの音を聞いて実際に声を出して練習）を行い、その後全員（3パート）合わせ、最後に起立して一曲通して歌う。準備した3曲を同様に行いました。最後に私たちあひるグループの歌を聴いて頂きレッスン終了。「楽しかった」「グループの雰囲気が良かった」など嬉しい感想を頂きました。

50年以上活動が続けている当グループですが、市民文化祭への参加は今回が初めてです。分からない事も多くありましたが、その都度ご担当の方々が丁寧に対応して下さい、無事公開レッスンを終了する事ができました。ありがとうございました。



くにたち公民館をまもる会 シンポジウム

自己教育・相互教育の場としての公民館

—国立市公民館の歩みをこれからに生かすために—

2023 年 11 月 11 日(土)午後 1 時 30 分～ 4 時

会場 国立市公民館地下ホール 参加者 37 人

報 告

1. 戦後社会教育の理念と国立市公民館が築き上げてきたもの 長澤成次(社会教育研究者 千葉大名誉教授)
2. 公民館で市民が育ちあうということ—くにたち公民館での体験から 荒井敏行(元国立市公民館長)
3. 公民館はくにたちの誇り 中島三恵子(国立市民)
4. 公民館の役割・機能と存在意義を見つめなおす 家坂平人(国立市民)

<開催の趣旨>

戦後社会教育は、国家が統制した戦前の反省から、人びとの自己教育、相互教育として自由に行われるものに転換を遂げた。国立市公民館は 1955 年に、青年サークル・土曜会が広く住民に呼びかけて誕生させた。それ以来現在まで市民によって、また市民と職員が共同で、さまざまな公民館活動を展開し、成果が蓄積されてきた。その成果を継承するために、意味を問い、考え、学びつづける機会としたい。

<参加者>

- ・年代的に若年層から高齢の方まで幅広く、公民館で様々な活動をしている人たちの参加があった。また公民館運営審議会委員や公民館職員の参加もあった。
- ・市外からも、公民館を取り巻く施設再編などの問題を考え続けている人々が参加された。

<報告>

- ・それぞれのテーマに沿った報告はすばらしかった。
- ・戦後の憲法、教育基本法、社会教育法がいかに住民に期待し、住民主体を貫いたものであったか。
- ・国立市公民館が築き上げてきた会場使用無料の原則や公民館運営審議会の活動などについて
- ・講座で多様な参加者や講師とともに学び、共同性を築いた経験について
- ・主権者意識の希薄さや個人の尊重が軽視されている状況に対し、公民館が語り合い考える拠点になってほしい。
- ・これからの課題として施設・整備や地域配置について

<参加者の意見など>

報告にあったこれまでの蓄積はたいへん貴重だ。2025 年には公民館創立 70 周年になる。ぜひ公民館だよりや資料集などをみんなで読み直したい。



第68回くにたち市民文化祭参加

フルート・アンサンブル「桜音の会」 第12回コンサート報告書



2023年11月12日(日) 午後4時～5時10分

国立市公民館 地下ホール

来場者数 お客様57名 出演者15名

4年ぶりにマウスガードなしで気持ちよく演奏できました。そして、
たくさんの皆様にご来場いただき、本当にありがとうございました。
また、関係各位の皆様方にもご協力いただき感謝申し上げます。
私たち桜音の会も、今後のさらなる発展を目指して頑張ります。



♪「桜音の会」連絡先：橋本昌一 メール：funkyhassy@gmail.com

第68回くにたち市民文化祭

第50回くにたち絵画グループ展

とき：11月14日（火）～11月19日（日）

場所：国立公民館市民ロビー

参加者：14名（全員）

参観人員：約130名

グループにとっての年一大イベントが無事に終了し、ほっとしています。
会場では来展者に、鑑賞後御芳名用紙に記載し、投函箱に入れていただくことにしました。
130名弱の来展を受け、中には感想、励ましの一筆をいただき、一同感謝しています。
ありがとうございました。

我々の会は楽しくをモットーに、一人一人が好きな画材で、静物画・風景画等を描いています。
現在、月4回木曜日を活動日としています。卓上のモチーフを囲んで描く者、旅行先でカメラに収めた写真等で描く者、自宅のモチーフで描き始めた続きを描いている者等、皆、好き好きに。
月2回は講師の指導を受けて完成していきます。
そして、発表の場をいただき、皆様に見ていただき、今年も達成でき感謝です。元気に次回へ進んで行けそうです。

開催に当たり、公民館の方々をはじめ、他サークルの方々に大変お世話になりました。
お礼申し上げます。



くにたち絵画グループ

かのこ着物がたり

Kanoko の軌跡

着付けサークルかのこ

2023 年 11 月 18 日

於国立公民館地下ホール

参加人数；主催者・観客併せ 20 名

国立市文化祭に今年も着物ショーで参加しました。

今年は病欠で 2 名、ボランティアなどで 2 名とメンバーの不参加が 4 名となりました。

文化祭への参加についても悩みましたが、今までに積み上げて来た「かのこ」の足跡を無にするのも忍びなくメンバーたちと相談しながらの着物ショーでした。

今年は「腰紐一本で着付けをする」をメインテーマにそれぞれが個々でも一生懸命練習を積み重ねました。

腰紐一本での着付けに慣れると移動も楽になります。

着物を着て電車を通して来るメンバーもとても楽になったと言っていました。

もっとこの方法が広まってくれと着物を着るのが楽になると思います。

質問コーナーでは季節による着物の違いや、柄など日頃の疑問がありました。

着物を普段着ていると考えないことも、時々しか着ない場合は悩まれるようです。

答えるほうもとても勉強になりました。

今回のテーマも見えて来たような気がします。

こうして文化祭に参加することで再度着付けについて考えることができ、もっと精進しなければと思っています。

最後にモデルをしてくださったお嬢様たち、公民館職員の皆様、様々なお手伝いをしてくださった方々にお礼を申し上げます。



ピースリーディング結「星は見ている」

～原爆でわが子を亡くした父母らの手記より～

- ・ 日時：11月19日(日) 14時～16時
- ・ 場所：公民館地下ホール
- ・ 参加者：20人(出演4人)

コロナ禍が明け、文化祭の参加団体も増えて、今年の文化祭はだいぶ活気が戻ってきたようでした。昨年までは1週間ぐらいで掲示終了していた各団体のポスターが、今年は文化祭期間中ずっと公民館の階段に貼られていました。館内が一気に華やかに、文化祭の雰囲気になってとても良かったです。

私たちは、今年は、原爆で全滅した広島一中一年生の母・藤野としえさんの手記「星は見ている」を朗読しました。女優の紺野美沙子さん主宰の朗読座による台本を、DVD 映像と音楽とともに朗読しました。今までの題材と違い、朗読のタイミングとバックの映像・音楽を合わせなければいけないところが、ちょっと難しかったです。本番では、音響担当のメンバーが微妙なズレを調整してくれました。

また、機材との相性が悪かったのか、DVDを使って練習しようとしたら、映像はちゃんと映るのに音が出ないというハプニングがありました。機械が苦手な私たちに代わり、公民館の職員さんが機材とコードの複雑な接続方法を考案、本番では問題なくできました。

「ピースリーディング」は朗読を通して平和の思いを伝えることです。2014年と2015年の公民館事業を出発点として、2016年からは市民有志で『ピースリーディング結』として活動しています。

「星は見ている」では、広島一中に通う息子と母親を中心に、原爆投下直前の広島での家族の日常と、投下後の被爆地ヒロシマの惨劇が語られています。被爆前夜、一緒に星空を眺めながら“戦争はこの地球上からなくしてほしい”と語った息子は、翌日建物疎開の作業中に被爆してしまいます(広島一中一年生は全員被爆死)。戦後、戦争の犠牲になった息子を思い、再び戦争の惨禍が起きないようにと世界平和を願う母親の願いに、私たちの気持ちを重ねました。

でも今、世界ではロシアのウクライナへの侵攻やイスラエルのガザ攻撃が続き、日本では戦争放棄の平和主義を掲げた憲法がありながら、軍事費激増が止まりません。朗読の後で、参加者の皆さんとトークシェアの時間を今回はゆっくり持ちました。日頃気になっていること、みんなに伝えたいこと、モヤモヤしていることなど…いろいろ話しました。若い方の参加もあり、お互いの思いを共有したり、交流したりできる場の大切さを改めて感じました。

来年はピースリーディング 10 周年。今までとは少し違った趣向でやってみたい、と思っています。



グリーンコーラス公開練習

日 時 11月22日(水) 10時～12時
会 場 公民館地下ホール
参加人数 14名
参観人数 8名

「第68回 くにたち市民文化祭」で、私たちグリーンコーラスは公開練習を行いました。

私たちの今年の練習曲は主に『瑠璃色の地球』、『願い』、『はる』、『いのちの歌』ですが、参加された方々にも歌っていただけるように『もみじ』、『赤とんぼ』の歌詞を用意して一緒に歌っていただきました。

当日の来場者は8名。内1名の加入が決まり、現在、総勢15名となりました。男性は3名で混声合唱団です。公開練習にこだわらず、いつでも参加募集していますので、お問合せをお待ちしています。



こぎつねの会 朗読発表会

日 時 : 11月24日(金) 13時30分～

場 所 : 公民館 講座室

参加人数 : 7名

参観人数 : 15名

こぎつねの会は、月2回 公民館で活動している朗読のサークルです。

コロナ禍で、集まる事や大きな声を出す事の難しさの中、3年ぶりに文化祭に参加させていただきました。皆さんの前で発表する事に緊張しながらも、楽しい時間を、持つことができ、とても励みになりました。

発表会を滞りなく終えることができましたのも、ご来場くださった皆様、準備段階から当日まで、たくさんのご支援をくださった公民館の職員の方々のおかげと深く感謝申し上げます。



第68回くにたち市民文化祭参加
「楽しいきもの体験」
国立国際交流会

開催日：11月26日（日）
場所：公民館 3階
体験参加者：15名
主催者側参加者：16名

今回の着物着付けは、従来通りでしたが、写真撮影については、後処理に手間取ることから、体験者持参のスマホ・カメラでの撮影とし、そのお手伝いをする方式に変更しました。和室も撮影会場として開放した結果、床の間を背景に、趣きのある写真が撮れたと、好評でした。

着物の着付けに大忙し



お似合いのカップル

前に、後に、ハイ、ポーズ



お茶室に見立てて、お軸拝見

「着物を着せて頂きました！」

2023 年 11 月 28 日

Kan Nina（ウズベキスタン）

23 年前に娘が一橋大学に在学していた頃から、私は何度か日本を訪れました。その当時から国立市のボランティアの友人、ボランティアの皆さんに大変お世話になっております。ボランティアの方々のおかげで、日本語の勉強も進み、日本文化や伝統に関する理解も深まり、日本での滞在が面白くて楽しくなりました。

今回は、2023 年 11 月 26 日に国立市民文化祭でしたので、国立国際交流会の方が日本の伝統的な着物を着てみるという大変興味深い体験型のイベントにご招待してくれました。私はいつも、とてもカラフルで綺麗な民族衣装である着物を着た日本の女の子や女性を見ることが好きでしたので、とても嬉しかったです。



当日、国立市の公民館3階に上がってみると、そこで若い日本人女性が外国人の女の子に着物の着付けを手伝っている様子が見えました。スタッフは私の来場に気付いたら隣のお部屋にあったテーブルまでご案内して下さいました。

机上には、厚手の絹でできたシックな着物 2 枚が置いてあり、そこから気に入った着物を選ばせて頂きました。私は青い袖と裾に赤い牡丹の花が入った着物を選びました。まさか日本女性のように綺麗な着物を着る機会がまた訪れるとは信じられませんでした。

最初は、白い綿の長いシャツを着せて頂きました。次に長袖の無地の薄いピンクの着物(?)を着ることになりました。その後になってやっと美しい着物を上から着せて頂き、さらに幅広のベルトである素晴らしい帯も結ばれました。背中に広いリボンが付けられ、私が鏡の前に立たされた瞬間、美しい着物姿になっていたのは誰でしょうか？ 私であったことをとても嬉しく思いました。こんなに綺麗になったことは今まであったでしょうか、なかったような気がしました！

大好きなボランティアさんたちと写真を撮りました。外の天気が寒い中、心が温まるイベントにお招きいただき、快く受け入れてくださった会の皆さん、そしてこのような面白いイベントを企画・開催して下さった国立国際交流会の皆様、イベントで色々手伝っていただいた皆様に心より感謝申し上げます。

パサール・スニ くにたち

と き：11月26日（日）

会 場：地下ホール

参加人数：20名

参観人数：約70名

市民文化祭への参加も今回で6回目となります。関係者各位のご尽力で文化祭が開催されることに感謝しつつ、我々はこの日を楽しみに練習を重ねてきました。

自分達も楽しんで演奏し、観に来てくれた方々にもバリの雰囲気味わっていただけるよう、昨年引き続き会場の飾り付けにも力を入れました。

たくさんのお客様にご来場いただき、ワークショップも盛況でした。技術的にはまだまだ未熟ながら楽しく演奏でき、自分の楽器だけに集中せず周りを見渡しお互いの音を聴き合うという目標を、これまでよりも達成できた演奏会でした。



第 68 回くにたち市民文化祭実行委員会の記録

回数	開催日時・場所	会 議 の 内 容
第 1 回	4 月 20 日 (木) 19:00 から 地下ホール	- 第 68 回市民文化祭実行委員会役員選出 実行委員長 鈴木 幸雄 (桜音の会) 副委員長 佐藤 寛 (総合美術展) 書記 小野 節子 (くにたち合同いけばなの会) - 公民館からの報告 ①「第 67 回くにたち市民文化祭 記録集」について ②本申込書の提出について ③消耗品購入及び印刷機申込書について 消耗品は、希望納品日の 3 週間前までに事務局へ提出 ④今年度予算について - 後援について 国立市教育委員会、および公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団 - 新型コロナウイルス感染防止の観点での公民館運用状況と市民文化祭の開催方針について 5 月 8 日から新型コロナの感染症法上の位置づけが 2 類相当から 5 類に移行するのに伴い、さまざまなルールの緩和が想定されるため、今年度の注意点としては、第 2 回 (6 月 15 日) で検討する。 - 開催日と会場使用について ・福祉会館 (11/4(土), 5(日))・芸術小ホール (11/5(日)) は予約済み。 ・事前に提出されたエントリーシートに記載された使用予定期間に基づいて、事務局で調整。準備～片付けまでが会場の確保日時となる。 ・辞退される場合は、公民館だよりの原稿の入稿期日の関係もあり、7 月 25 日 (火) までに事務局へ連絡。 - 文化祭の開催期間について 令和 5 年 10 月 17 日 (火)～11 月 26 日 (日) - 式典について 紹介展示：令和 5 年 10 月 17 日 (火)～10 月 21 日 (土) (設営は 10 月 16 日 (月) 午前 10 時から、片付けは 10 月 21 日 (土) 式典終了後を予定)。 公民館ロビーにて文化祭での催し内容を、模造紙 1 枚程度にまとめ展示 文化祭式典：10 月 21 日 (土) 10:30～ ・場所：地下ホール ・来賓 (予定)：市長、教育長 ・内容：第 2 回実行委員会で検討。 - その他 ○ポスター、看板について 協力者は申し出ることとする。 ○第 67 回くにたち市民文化祭の申し送り事項について

		①広報について パンフレットに写真を入れるなど、実行委員会で意見を出し合う。 ②申込について 申込書類をホームページからダウンロードし、メールでの参加申込みを可能とした。 ③設備について ・ロビーの照明：電気容量を確認する必要がある。 ・パネルの軽量化：予算の都合で不可。 ・除菌アルコール：貸出し可能。 ・地下ホール入口段差：スロープを使用。 ・団体間の交流：実行委員会で意見を出し合う。 9. 次回実行委員会及び検討事項 日時：6月15日（木）19：00～ 地下ホール 検討事項 ①文化祭テーマについて ②開催式典の内容について ③「公民館だより」掲載案内記事依頼
第2回	6月15日（木） 19：00 から 地下ホール	1. 公民館からの確認事項 ①参加団体・期間について 参加団体の募集は終了し、参加団体数は24団体 <u>文化祭の開催期間は10月17日（火）～11月26日（日）</u> （紹介展示は10月17日（火）～） ※辞退する団体は7月25日（火）までに事務局へ ②参加団体等の確認について ・会場を使用する期間の確認 ・使用する会場申し込み確認 ・使用備品の確認 →準備日時～片付け日時が会場の確保日時となる ※本番終了後、片づけの時間を確保できているか要確認 ・消耗品の購入について →「消耗品購入及び印刷機使用申込み票」は使用する3週間前までに事務局へ提出 →印刷は当日提出でも可（用紙は消耗品として3週間前までに事務局へ提出） 2. ポスターについて ①図案 ・デザイン等は事務局、業者に一任する。 ・300枚ほど印刷する予定 ② 掲示方法 ・シルバー人材センターに委託し市内掲示板に掲示（10月初旬～11月下旬） ・次回の実行委員会時に配布予定 3. 文化祭のテーマについて 多数決で決定「出会い！発見！新たなエネルギー」

		4. 公民館だより 10月号掲載原稿について ・7月25日(火)までに「第68回国立市民文化祭公民館だより10月号掲載文」を事務局に提出 ・記入必須項目は「タイトル」「紹介文」「とき(開催日)」「ところ(会場)」「企画(団体名)」の5項目(紹介文は必ず25字×3行に収める) ・連絡先は希望される方のみ記入 ※連絡先を掲載する場合は、紹介文を25字×2行に収める 5. 参加団体紹介展示について 参加団体紹介展示 10月17日(火)～10月21日(土) 準備: 10月16日(月)午前10時～ ロビーの飾り付けは参加者が行う。 紹介展示内容は各団体模造紙1枚分を予定 片付け: 10月21日(土)式典終了後～ 6. 文化祭式典 ・日時: 10月21日(土)10時半～ ・場所: 公民館 地下ホール ・来賓: 市長、教育長(予定) ・内容: 各グループの紹介(おおむね1分程度)ほか ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、乾杯などを中止していたが、今年は乾杯と個包装のお菓子を食べながら交流する ※参加者人数の制限は設けない(新型コロナウイルスの拡大状況で再検討の可能性あり) 7. その他 ・カンパ金について 式典での乾杯などの交流会実施に伴い、次回実行委員会で各団体500円を集めることとする。 ・パンフレットについて 各団体の写真を掲載することから、各団体で準備する。 8. 次回実行委員会及び検討事項 ○日 時 9月14日(木)19時～ 地下ホール ○検討事項 ・文化祭式典について ・紹介展示について(模造紙の配布) ・公民館だより10月号掲載原稿の確認 ・ポスターの配布 ・カンパ金の集金 ・パンフレットの確認
第3回	9月14日(木) 19:00から 地下ホール	1. ポスターについて ・公的機関、市内掲示板、公民館内の掲示は公民館で行う ・その他、各グループで必要な部数は受付職員に伝える

		2. 参加団体紹介展示及び文化祭式典について ①参加団体紹介展示 ・10月17日(火)～10月21日(土) 1階 市民交流ロビー 準備は10月16日(月)午前10時～、片付けは10月21日(土)式典終了後、午前11時50分頃～ ・紹介は各団体で模造紙を縦1枚で使用(記載内容:団体名、発表日時、発表内容の紹介など) ・作成した模造紙は10月16日(月)の参加団体紹介展示の準備の際に持参 ②文化祭式典について ・10月21日(土)午前10時30分～ 地下ホール ※各団体最大2名参加可能 ※各団体の紹介の時間は1分程度 ※喫茶「わいがや」の飲み物による乾杯 ※座席レイアウトについては、参加者が自由に交流できるように、事務局で検討 3. 公民館だよりについて 公民館だよりの原稿の確認 4. パンフレットについて ・A5サイズ、カラー印刷でパンフレットを手配 ・各団体の紹介は公民館だより10月号掲載原稿と同様 ・掲載写真を9月22日(金)までに提出 5. 報告書について ※文化祭記録集用原稿締切日 2023(令和5)年12月8日(金) 記載内容(期間・日時、会場、団体数、参加人数、参観人数) ※人数は正確な数字でなくても良い ※掲載したい写真があればデータまたは写真現物で提出 参加、参観人数が明確に把握できない団体は、延べ人数でも良い 6. その他 ・必要な消耗品、備品は、使用から2～3週間前までに事務局へ提出 7. 次回実行委員会(振り返り会) 2024(令和6)年1月18日(木)19時～地下ホール
第4回	1月18日(木) 19:00から 地下ホール	1. 文化祭を終えて各参加団体の感想 記録は別項に記載 2. 次回第69回くにたち市民文化祭に向けて ・提案 記録は別項に記載 ・第1回実行委員会 令和6年4月18日(木)19:00～地下ホール予定 新しい実行委員を迎えて実施 ・参加申し込みは第1回実行委員会の前日(4月17日(水)17:00)までに提出 3. カンパの収支状況報告 残高 3,852円 → 来年度に繰越し

【反省会の記録】

1. 活動の報告 良かったこと、反省点、改善点

○くにたち話し方勉強会

- ・当会の歴史を振りかえり、会員自身が改めてどのような会なのか、存在を考えるいい機会になりました。会への愛着が芽生えました。
- ・他の団体の活動を知ることができ、影響を受けました。
- ・公開講座の見学者が知り合いにとどまりました。HPの呼びかけの効果はあまりなく、認知度を増やすための工夫が必要だと感じます。

○総合美術展

- ・今回コラボ展示として、各部門の垣根を超えた展示を行ったことで、一体感が向上しました。一方で展示場所の案内に混乱が生じた場面もあったので、その点は再検討も必要です。
- ・紹介展示に出展したことは、見学者増加に寄与したと感じます。
- ・体験デモンストレーションは引き続き好評でした。
- ・各会場での小休止用に、椅子を追加設置したことは好評でした。

○くにたち国際友好会 WING

- ・初めての参加で、普段は講座室で行っている国際理解講座を、文化祭ということで1階の市民交流ロビーで開催しました。
- ・Zoomによるライブ配信と併用して開催し、多数の聴講者に参加していただきました。
- ・Zoomの配信が途中で乱れるという事象が多く発生したのが残念でした。

○プロウタイム

- ・初めての参加で、会の一体感を感じることができ、楽しかったです。
- ・来年はi-zeとも共同で体験コーナーを作り、書道のよさや交流ができるとよいと思いました。
- ・作品を出品した高齢者施設からも、参加できて楽しかった、やりがいがあった、という声をいただきました。

○シャンソン勉強会

- ・初参加でしたが、公民館のスタッフの方がていねいに指導してくださり、特に困ったことなくスムーズに活動できました。
- ・シャンソン、カンツォーネの世界をソロで歌うので、音響はプロの方に入っていただきました。
- ・多くの方々にご来場いただき、出演者もびっくりしました。次年度も参加したいと考えています。

○KUNIFA 日本語サポート

- ・3年ぶりに開催することができ、イベント本来の目的（日本語学習者に人前で日本語を発表する機会を提供し、自信を持ってもらう）を達成することができました。
- ・第1部のスピーチも第2部の茶話会も、なごやかな雰囲気に参加者がみな楽しく参加することができました。
- ・外部に対する宣伝をほとんどしなかったため、参加者は日本語学習者とその家族、会員のボランティアだけになってしまいました。来年以降は、以前のようにポスター掲示など外部への働きかけも必要かもしれません。

○地域国際交流 まほうのランプ

- ・参加人数はコロナ前に戻りましたが、多数の方が一度に集中しないように時間予約制にしたのがよかったです。
- ・一方で、飛び入りで参加希望された方への対処に苦労しました。次回の課題です。

○i-ze (いーぜ)

- ・熱中して楽しんでくれた親子など、多世代が交流できる場づくりができました。
- ・初めての参加でしたが、集客の面では工夫が必要だとわかりました。入口での声かけを行い、ワークショップをやっていることを知っていただく努力をしました。
- ・知人が多く来てくれたことや、矢川プラスでのワークショップに来てくれた方がチラシを見て、今回来てくれたことがうれしかったです。

○くにたちギタークラブかなで

- ・予定していた曲目をすべて演奏でき、ほぼ時間通り終えることができてよかったです。
- ・会場が狭く、階段上で聴く方が出てしまったことが残念でした。次回は芸小ホールスタジオでの開催を検討しています。

○芸能フェスティバル

- ・年齢を重ねて、舞台に立つことの自信がなくなりましたという方もおりましたが、当日は楽屋も舞台も明るく花が咲きました。

○リーダーズシアター座 くにたち

- ・芸小ホールスタジオが利用できてよかったです。自分たちの発表の形態と観客数がちょうどいい会場でした。
- ・照明、録音機器の取り扱いを確認しておくべきでした。特に録音、映像などが後日再生できず、残念でした。

○国立書道連盟

- ・昨年よりも出品数が多く、内容も多彩で概ね好評でした。来場者も昨年を上回ることができました。
- ・展示準備の際に、手際よくスムーズに、また時間的にも例年に比べて早く終了しました。
- ・準備、撤去において、パネルの設置が同フロアからの移動であったため助かりました。
- ・指示する人によって段取りに違いがあり困ったのでマニュアルを作ってはどうか……との意見がありました。額や軸装に関しての名札の位置や高さ等など。

○国立あひるグループ

- ・「公開レッスン」という形で、グループの活動を広く知っていただけたことはよかったです。
- ・文化祭をきっかけに1名がグループに加入していただけました。

○公民館をまもる会

- ・文化祭での企画イベント実施は会の活動の大きなウエイトを占めています。こういう場は大切だと思います。
- ・今回、浮かび上がった新しい課題・テーマをこれから考えていきたいです。
- ・多様な顔ぶれの参加者が発言の時間を十分とることができなかったのが残念でした。

○桜音の会

- ・通常の形に戻って、小合奏も含めた3部構成でできたことはよかったです。
- ・来場者数が過去最高となりました。
- ・最初に用意していた椅子が足りなくなるほど、多くの方にお越しいただけて、演奏に力が入りました。

○くにたち絵画グループ

- ・会員全員が1年の集大成として、発表することができてよかったです。
- ・発表の場があることで、次への意欲が湧いてきます。次回へ向けて頑張っています。

○くにたち合同いけ花の会

- ・少人数でも実行したいという思いで、皆さんとつなげていくことが大切だと実感しました。作品数は少なかったですが、会場は広々としていてゆとりをもって活けられ、お花も生き生きといつもより輝いてみえました。
- ・来年も続けていかれるように「声かけを忘れずにしていきましょう」で、終えることができました。

○着付けサークル かのこ

- ・メンバー数名が諸々の理由で参加できず、文化祭への参加が危ぶまれましたが、残ったメンバーが意欲的だったので、着物ショーを開催できました。
- ・ショーでは自由な質問も出て、着付けを練習している私たちにとっては普通のことも、来場者の方からたくさんの疑問が出たことは勉強になりました。勉強の成果をこれからも文化祭の舞台で発信していこうと思います。

○ピースリーディング結

- ・例年、朗読と映画上映、またはトークというパターンが多いのですが、今回は朗読のあと、交流の時間をたっぷりとしたことが参加者の方からも好評でした。次回以降も、交流の時間を大切にしたいと思いました。
- ・毎回のことですが、準備がギリギリになってしまうので、早めに始動したいです。
- ・メンバーも増やしたいです。

○グリーンコーラス

- ・椅子の配置を来場者に対応した形にしました。いつもと少し違う気分で練習を楽しめました。
- ・立て看板など事前に申し込みをしていなかったが、柔軟に対応していただけてありがたかったです。
- ・練習の写真をとっていただき感謝です。
- ・自分たち以外の団体の発表に参加しなかったことは少しもったいないなあとと思っています。

○くにたち茶道連盟

- ・小春日和に恵まれ、多くの方々にお楽しみいただきました。
- ・コロナ禍から日常の穏やかさを取り戻し、楽しく、にぎやかに開催させていただきました。久しぶりの開かれた茶会に、皆様もきっと元気を取り戻せたと存じます。

○こぎつねの会

- ・無事に発表会ができて、とてもよかったです。
- ・もう少し事前にPRができたならよかったです。次回は早めから準備を進めたいと思います。
- ・当日、玄関に立て看板を出すべきでした。

○パサールスニくにたち

- ・市民文化祭を大切な発表の場として練習を重ねています。
- ・今回も無事開催され、大勢のお客様に来ていただけて一同喜んでおります。

2. 次回への意見、要望

○広報について

- ・写真入りのカラーパンフレットになったことで、各団体の内容がわかりやすくなりました。
- ・公民館だよりの文化祭の記事を、もう少しはっきり印象付けるようなレイアウトにできないでしょうか。
- ・文化祭開催の広報に力をいれてほしいです（小中学校へのアプローチ、各団体の映像記録を駅舎で流す他、いろいろなアイデアを出し合って出来ることから）。
- ・入口に、文化祭の宣伝用の大看板を設置してほしいです。

○会場について

- ・今回の芸小ホールの日程が市民祭と重なってしまい、交通規制の結果、出演者・来場者の移動がかなり難しかった。次回は市民祭と重ならないようにしてほしいです。
- ・芸小ホールのスタジオについて、リハーサルや撤収の段取りを考えると、1日1組の利用が望ましいと感じます。
- ・会場設営時、事務局の方がいらっしゃらず、混乱することがありました。
- ・ロビー展示の期間、勉強している学生などの一般の利用者がいて気を使いました。できれば作品の鑑賞に支障がないように席を配置してほしいです。
- ・来年はロビー全体を貸し切って展示を行いたいです。

○備品・設備について

- ・公民館のWi-Fiが弱く、接続が不安定のため、改善していただきたいです。
- ・プロジェクターが古く、映像の解像度が低いので、新しくしていただきたいです。
- ・ロビーの照明の数をもう少し増やしてもらいたいです。

○団体間の交流について

- ・各団体との交流、つながりが何かを通じてなされることを願っております。
- ・オープニングの交流は、立食パーティー風に移動自由になってもいいのではと思いました。
- ・市民文化祭なので、はじめに短時間でもグループ紹介をしたほうが、文化祭参加グループ同士が理解できるのではと思いました。

○実行委員会について

- ・実行委員会をzoom参加可能にしてもいいと思います。夜の会議に参加するのが少し負担です。
- ・テーマ決定に時間をかけても、そのテーマが文化祭に生かされていないと感じます。今一度、テーマを掲げる必要があるか議論してほしいです。
- ・テーマを掲げるのであれば、事前提出してもらい一覧表を配布し紙に記入して短時間で済むように配慮してほしいです。

○紹介展示について

- ・文化祭期間中、紹介展示のポスターを階段の壁に掲示していただけたのはよかったと思います。いろいろな団体の展示をゆっくり見ることができました。来年も続けてほしいです。
- ・紹介展示のポスターを作って、どの程度効果があったのか気になります。公民館を出入りする固定の人にしか、認識されなかったのではないかと感じます。紹介展示の作成は負担も大きいので、働いている方や小さい子どもを持つ方、学生などは参加のハードルに感じてしまうのではないのでしょうか。

【申し送り事項】

- ・来年度の役員は第1回実行委員会にて協議いたします。

■実行委員会担当役員

実行委員長：1名、副実行委員長：1名、書記：1名

- ・来年度の第1回実行委員会開催日は4月18日（木）です。



— 第68回くにたち市民文化祭記録集 —

発行／2024年（令和6年）3月31日

第68回くにたち市民文化祭実行委員会
国立市公民館（事務局）

〒186-0004 東京都国立市中1-15-1

TEL 042 (572) 5141

FAX 042 (573) 0480

E-mail : sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

